

FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

システム構成図 (留意事項編)

※BX920 S3/BX924 S3/RX200 S7/RX300 S7 の樹系図については、
弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS	Windows
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD	
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF	
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64	
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32	
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Ex64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1	
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P	
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E	
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8	
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P	
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U	
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	Linux
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	VMware
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.5)	vS5.5	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.1)	vS5.1	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	vS5.0	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	vS4.1	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	vS4.0	

サーバ監視ソフト ServerView Operations Managerについて

ServerView Operations Managerは、ServerView Suite(SVS)に格納されているサーバ監視・管理ソフトウェアです。
エージェントソフトであるServerView AgentsまたはServerView ESXi CIM Provider(標準添付)と一緒に利用することにより、それぞれ以下の機能を実現します。

[管理サーバ用マネージャーソフト]

ソフトウェア名称	ServerView Operations Manager (SVOM)		
利用環境	Windows/Linux/VMware ESX環境	VMware ESXi 4.1環境	VMware ESXi 5.x環境
主な機能	サーバ状態情報表示(SNMP経由)	サーバ状態情報表示(CIM経由)	
	エージェントからのアラーム受信/表示	無し	可
	エージェントからのアラーム受信によるアラームアクションの実行 (リモート通報サービスの提供) - インターネットメール送信 - SNMPトラップ転送 - メッセージボックス - プログラム実行 - 接続クライアントへのブロードキャスト - イベントログ記録	無し	可
	エージェントに対する各種設定 - ASR(自動復旧機能)	可	
	パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	無し	
備考	本ソフトウェアは、Windows(Windows Server® 2003以降)またはLinux上にて動作します(VMwareへのインストールは不可)		

※VMware ESX/ESXiを含むシステムでSVOMを利用する場合は、別途管理サーバ(Windows/Linux上で動くサーバ、ゲストOSでも可)を準備してください。

※VMware ESXiのサーバ状態情報表示を行う場合、SVOMはバージョンV5.01.03以降をお使いください。

※VMware ESXiサーバからのアラーム受信を行う場合、SVOMはバージョンV5.30.06以降をお使いください。

※リモート通報サービスを行う場合、SVOMはバージョンV5.50.9以降をお使いください。

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することがあります。また、イベントログにて発生を確認することができます。

※VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)内、VMware留意事項を必ずご参照ください。

※設定可能なASR機能は、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ機能のみです。

また設定を行う場合、ServerView ESXi CIM Providerは、バージョンV6.00.04以降、SVOMはバージョンV6.00.07以降をお使いください。

[監視対象サーバ用エージェントソフト]

ソフトウェア名称	ServerView Agents		
監視対象サーバ	Windows/Linux/VMware ESXサーバ	VMware ESXi 4.1搭載サーバ	VMware ESXi 5.x搭載サーバ
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (SNMP経由)	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (CIM経由)	
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	無し	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	無し	

※Windows/Linux/VMware ESX サーバは「SNMPトラップ」によりアラームが送信されます。VMware ESXi 5.xを搭載したサーバは「CIM Indication」によりアラームが送信されます。

「CIM Indication」は、SVOMのイベントマネージャでSNMPトラップと同様に扱うことが可能です。

※ServerView ESXi CIM Providerについて、留意事項やインストール手順を弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)内、VMware留意事項にて掲載していますので必ずご参照ください。

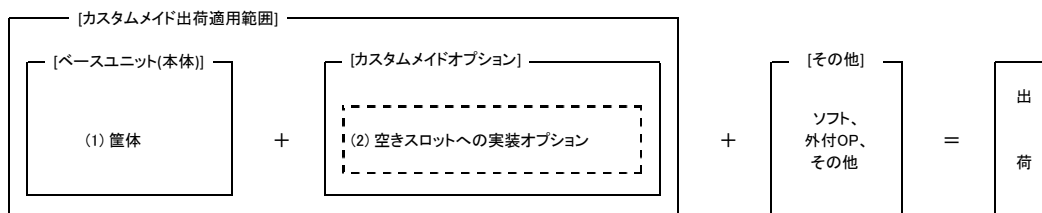
カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU/メモリ/ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。

それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1) ベースユニット(本体)

PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40/PRIMERGY SX05 S1)が対象となります。

(2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

2. カスタムメイド出荷における注意事項

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違えてOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。
カスタムメイド手配時にはご注意ください。

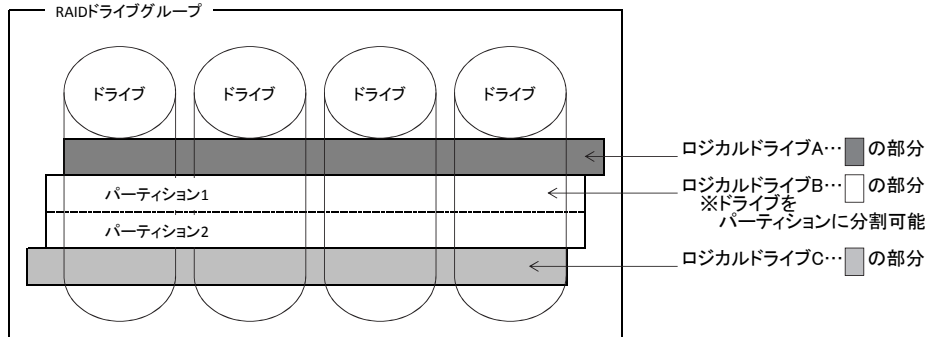
システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- (1) RAIDドライブグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書き込む方式))	—	1～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書き込む方式))	—	2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書き込む方式))	—	4～32台 (*1) (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式))	—	4～16台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、パリティを加えて書き込む方式))	—	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]]
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式))	—	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1) × ストライピング数]]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのパリティを加えて書き込む方式))	—	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]]
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式))	—	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2) × ストライピング数]]

(*1) ストレージコントローラ(PY-SC1L4)においては、3台以上でRAID1Eを組むことができます。

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり	1カード当たり	1カード当たり
オンボードSATAコントローラ オンボードSATAコントローラ拡張オプション	標準搭載/ PY-RLSE01	4	RAID1+0 RAID5+0 (*1) RAID6+0 (*1)	左記以外のRAIDレベル	8
SASコントローラカード	PY-SC1L4	2	-	2	2
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR2L2 PY-SRD14A	8	1	16	16
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラ拡張ボード	PY-SR2C2/PY-SR2W0 PY-SRD08/PYBSRD081A	8	1	16	64
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR3C33/PY-SR3C34/PY-SR3PR2 PY-SRD24A	8	16	16	64

(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。

- (6) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同名型の内蔵ストレージで設定してください。異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同名型のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み・書き込み	推奨

SASアレイコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表の通りです。

■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU		動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
	有無	充電状態		
Write Through	あり / なし	—	Write Through	デフォルト出荷設定
Write Back	あり	十分	Write Back	SASアレイコントローラカード、FBU / BBUをカスタマイズし、RAID設定サービスを手配された場合、「Write Back」設定で出荷
		不十分	Write Through	
なし	—	Write Through		
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back	—

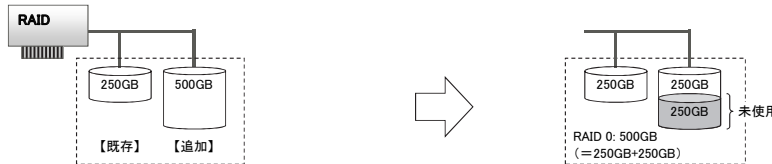
※ FBU/BBU使用時の注意事項

- ・BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なリキャリブレーション(調整のための充放電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- ・FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リキャリブレーション中においてもWrite Back設定は維持されます。
- ・充電完了までの目安は、FBU: 最大10分程度、BBU: 最大12時間程度となります。

異なる容量のSATA/BC-SATA/ニアライン SASハードディスクドライブ増設時のアレイ構築について

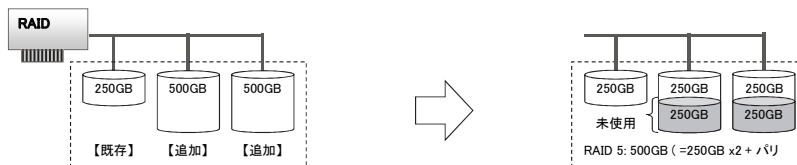
- アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

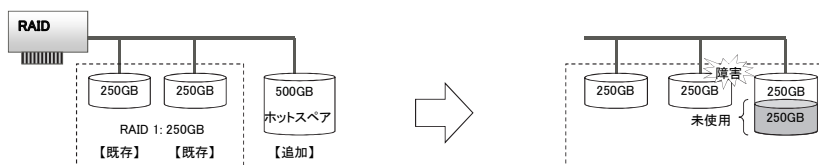
(2) RAID5の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- 異なる容量のドライブを追加した場合でも、大きな容量のドライブに未使用となる領域ができますが、同一容量のドライブを使用した場合と同様なロジカルドライブを構築することができます。また、アレイを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
 - 消耗品には寿命があり、保証書に記載されているお買い上げ日からの換算となります。
 - 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。
 - なお、寿命期間は25°Cを基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますので予めご注意ください。
 - バッテリーを稼働させず長期間保管した場合、放電を続けご使用できなくなる事があるため、ご購入後は速やかな搭載作業(目安として2年以内を推奨)をお願いいたします。
 - RAS支援サービスやOS標準スケジュール機能により交換予告通知設定をする事が可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。
- 詳細につきましては、弊社HP「定期交換部品・消耗品・有寿命部品」(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/>)をご参照ください。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAIDバッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。
 詳細については弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/maintenance/raidbattery/>)をご参照ください。
 ※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。
 詳細については弊社HP(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/parts_exchange.html)をご参照ください。

■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		寿命期間:「2年」		
品名		品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	11,500円
	PYBBBR01A			
	PYBBBR02A			
	PYBBBR03A			
	PY-BBR06A			
	PYBBBR06A			
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR07A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	11,500円
	PY-BBR04A			
	PYBBBR04A			
	PYBBBR05A			

■2013年12月以前提供製品 ※2014年3月末販売終息予定

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】			2014年1月販売開始		
2014年3月末販売終息予定		2014年3月末販売終息予定			2014年1月販売開始		
寿命期間:「約3年」		寿命期間:「約3年」			寿命期間:「2年」		
品名	型名	品名	型名	価格(税別)	品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	11,500円
	PYBBBR01						
	PYBBBR02						
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	11,500円
	PGBBB07						
SASアレイコントローラカード(*1)	PY-BBD02	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU5	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	11,500円
	PYBBBD02						
	PG-248KL						
	PG-248GL						
	PG-248G1						
	PG-248G2						
	PG-248G3						
	PG-248G3L						
	PG-248C3						
	PG-248C4						
	PG-248C6						
	PG-248C2L						
	PG-248J						
	PG-248J1						
	PG-248JC						
	PG-248C7						
	PG-248C8						
PG-248G5							
PG-248J2							
PG-248JL							
PG-248J3							
PG-248J4							
PG-248K							
PG-248KL							
PG-248K3							
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU6	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	10,000円
	PGBBBU6						
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	バッテリーバックアップユニット	PG-BBU1	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	10,000円
	PYBBBR04						
	PYBBBR05						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248C	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU3	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC4A	11,500円
	PG-248C1						
	PG-248CL						
	PG-244C1						
	PG-244CL						
RX600 S4標準搭載 SASアレイコントローラカード	-	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU4	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC5A	10,000円
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248G	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		
	PG-248G1L						
	PG-248G2L						
SASアレイコントローラカード	PG-244C	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)					
	PGB244C						

(*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)PG-型名のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内容蔵出荷)PGB型名も対象となります。

有寿命部品 - SSD製品の書き込み保証値について

下表にあるSSD製品は、書き込み寿命を有するNANDフラッシュを含んだ「有寿命部品」となります。
 お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にNANDフラッシュの書き込み寿命を迎える場合があります。
 保証期間は、弊社の定める製品保証期間終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。

ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、
 お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

本製品の書き込み保証値は、以下の通りです。

製品名	型名	書き込み保証値		参考：保証値に至る可能性のある書き込みデータ転送量(5年間連続で使用する場合)
		PBDW (Peta-Bytes Data Write)	DWPD (Drive Writes Per Day)	
PCIe SSD-365GB	PY-SD0APA2 PYBSD0APA2	4 PB	6 回	25 MB/s
PCIe SSD-785GB	PY-SD07PA2 PYBSD07PA2	11 PB	7 回	70 MB/s
PCIe SSD-1.2TB	PY-SD12PA2 PYBSD12PA2	17 PB	7 回	108 MB/s

PBDW (Peta-Bytes Data Write) : 書き込みデータの総量。容量表記は1PB(1ペタバイト)=1000⁵ Byte換算値です。
 DWPD (Drive Writes Per Day) : 1日あたりにドライブ全容量分を上書きできる回数。

本製品の状態は、管理ソフトウェアioSphereやコマンドラインツールを使用して確認できます。
 定期的に状態をご確認頂き、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に弊社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談を
 下さいますようお願いいたします。
 また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、
 弊社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談下さいますようお願いいたします。

ioSphereおよびコマンドラインツールは、ioMemory VSLデバイスドライバと合わせて富士通公開ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>)

詳細な操作方法については、弊社公開ホームページ:「マニュアル」より本製品のマニュアル(「ioSphere ソフトウェア ユーザーガイド」または
 「ioMemory VSLユーザーガイド」)をご参照ください。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS略称	最大CPU数(*1)	使用可能メモリ容量
WS12S / WS12RS	(~64)	4TB
WS12D / WS12RD	(~64)	4TB
WS12F / WS12RF	(~1)	32GB
WS12E / WS12RE	(~2)	64GB
SBS11E	(~2)	32GB
WS08RS	(~4)	32GB (*2)
WS08RE	(~8)	2TB (*3)
WS08RD	(~64)	2TB (*3)
WS08RF	(~1)	8GB (*4)
WS08S-64	(~4)	32GB
WS08E-64	(~8)	1TB
WS08D-64	(~64)	1TB
WS08S-32	(~4)	4GB (*5)
WS08E-32	(~8)	64GB
WS08RW	(~4)	32GB
WS08W-64	(~4)	32GB
WS08W-32	(~4)	4GB
WS08RH	(~4)	128GB
SBS08S	(~4)	32GB
SBS08P	(~4)	32GB
RHEL6(Intel64)	~80	2TB
RHEL6(x86)	~32	12GB
RHEL5(Intel64)	~80	1TB
RHEL5(x86)	~32	12GB
vS5.5	320	4TB
vS5.1	160	32GB (*6) / 2TB
vS5.0	160	32GB (*6) / 2TB
vS4.1	128	256GB / 1TB (*7)
vS4.0	64	256GB / 1TB (*7)

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コアCPU、8コアCPU、10コア、12コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 R2 Standardインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は32GBまでです。

(*3) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用してください。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用してください。

(*4) Windows Server® 2008 R2 Foundationインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*5) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)インストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は4GBまでです。

(*6) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

(*7) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plus エディションが必要です。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャンネルモード、ランクスペアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャンネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

■BX920 S3/BX920 S4/TX150 S8/TX200 S7の場合 (※TX150 S8は1CPU構成のみとなります。)

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
搭載順	1	4	2	5	3	6

■物理CPU2個構成時

	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
搭載順	1	7	3	9	5	11	2	8	4	10	6	12

【ランクスペアリングモード】

- (1) 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) LV-UDIMMでは使用できません。
- (5) ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- (6) 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1、またはOcta Rank × 1
- (7) 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM			LRDIMM	LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
	SR	DR	SR	DR	DR	QR	OR
1DPC	-	-	-	-	-	24GB	56GB
2DPC	-	-	4GB	12GB	24GB	56GB	120GB

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank
OR: Octa Rank

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	2	①	①	-	-	-	-
2セット	4	①	①	②	②	-	-
3セット	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	4	①	①	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-
3セット	6	①	①	③	③	-	-	②	②	-	-	-	-
4セット	8	①	①	③	③	-	-	②	②	④	④	-	-
5セット	10	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	-	-
6セット	12	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	⑥	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	1	①	-	-	-	-	-
	2	①	-	①	-	-	-
2セット	3	①	-	①	-	②	-
	4	①	①	②	-	②	-
3セット	5	①	①	②	②	③	-
	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

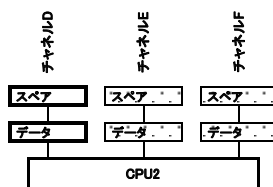
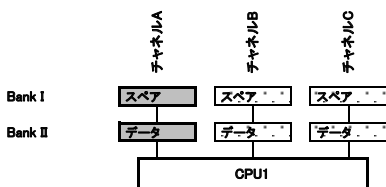
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
	3	①	-	①	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3セット	4	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	-	-
	5	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
4セット	6	①	④	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
	7	①	④	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
5セット	8	①	④	①	-	③	-	②	④	②	-	③	-
	9	①	④	①	⑤	③	-	②	④	②	-	③	-
6セット	10	①	④	①	⑤	③	-	②	④	②	⑤	③	-
	11	①	④	①	⑤	③	⑥	②	④	②	⑤	③	⑥
6セット	12	①	④	①	⑤	③	⑥	②	④	②	⑤	③	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

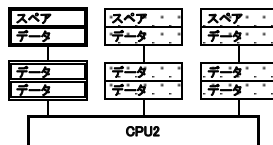
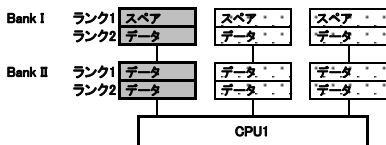
【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



■ 1セット目の搭載位置
□ 2セット目の搭載位置
□ チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

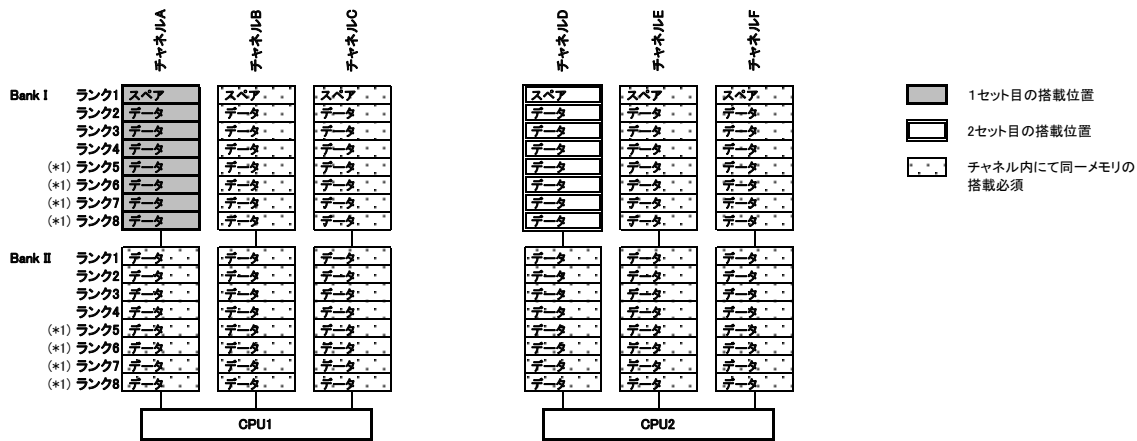


■ 1セット目の搭載位置
□ 2セット目の搭載位置
□ チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

＜Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合＞



(※1) Octa Rankメモリの場合のみ、Quad Rankメモリの場合はランク1～4までです。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低3枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、3枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②

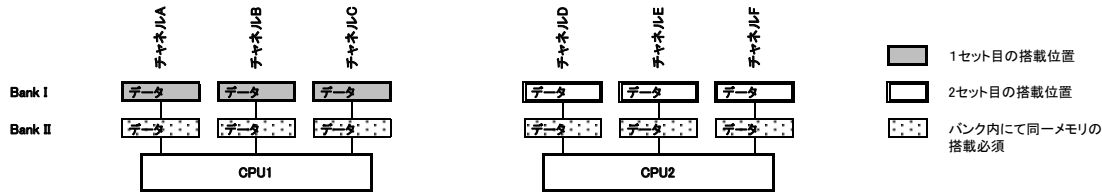
○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-
3セット	①	③	①	③	①	③	②	-	②	-	②	-
4セット	①	③	①	③	①	③	②	④	②	④	②	④

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) LV-UDIMMでは使用できません。
 - (3) 最低2枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (5) 1DPC構成のみサポートとなります (DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	-	-	①	-	①	-

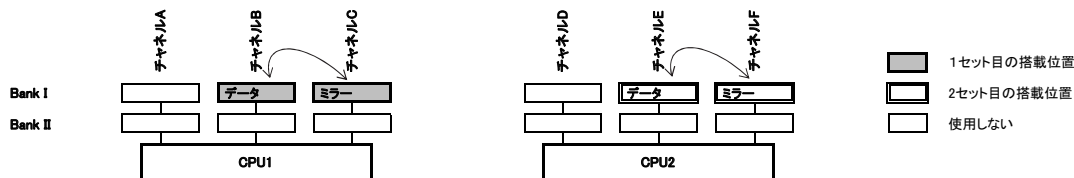
○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	2D	1D	2E	1E	2F	1F
1セット	-	-	①	-	①	-	-	-	-	②	-	②

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



■BX924 S3/BX924 S4/RX200 S7/RX200 S8/RX300 S7/RX300 S8/RX350 S8/TX300 S8の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。
 ただし、BX924 S4でメモリ64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【DIMMの搭載順】

◀BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時) ▶

■物理CPU1個構成時

	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順	1	5	9	3	7	-	4	8	-	2	6	10

-:メモリ搭載不可

■物理CPU2個構成時

	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順	1	9	17	5	13	-	7	15	-	3	11	19	2	10	18	6	14	21	8	16	22	4	12	20

-:メモリ搭載不可

◀BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時以外) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外)▶

■物理CPU1個構成時

	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順	1	5	9	3	7	11	4	8	12	2	6	10

■物理CPU2個構成時

	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順	1	9	17	5	13	21	7	15	23	3	11	19	2	10	18	6	14	22	8	16	24	4	12	20

【ランクスベアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- LV-UDIMMでは使用できません。
- ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- Quad Rank / Octa Rankメモリの場合、3枚目のDIMMを搭載する際に、1,2枚目と同一チャンネルの3番目のDIMMスロットには搭載せず、次のチャンネルに搭載してください。
- 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1、またはOcta Rank × 1
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下ようになります。
- Dual Rank × 8(8GB 1866 RDIMM)では使用できません。
- BX924 S4でメモリ64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM				LRDIMM	LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB	
	SR	DR	SR	DR	DR	QR	OR	
1DPC	-	-	-	-	-	24GB	56GB	
2DPC	-	-	4GB	12GB	24GB	56GB	120GB	
3DPC	-	-	8GB	20GB	40GB	88GB	-	

SR: Single Rank
 DR: Dual Rank
 QR: Quad Rank
 OR: Octa Rank

※DPC:チャンネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

◀BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時) ▶

◀Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合▶

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2												
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3セット	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4セット	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
6セット	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④	
	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
7セット	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④	
	15	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-	
8セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④	
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
9セット	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
10セット	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④	
	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④	

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
4セット	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	-
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	-	-	-	-	-	④	④
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	④	④
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④
	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

<<BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時以外) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外)>>

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
2セット	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
3セット	7	①	①	①	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	③	-	-	-	②	②	②
4セット	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2													
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G		
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-		
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-		
4セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	④	④		
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	④	④		
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	④	④		
5セット	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	④	④		
	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	④	④		
	15	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	④	④		
6セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	-	④	④		
	17	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	-	④	④		
	18	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	④	④		
7セット	19	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	-	④	④		
	20	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	④	④		
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	④	④		
8セット	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	-	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	③	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	-	④	④

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

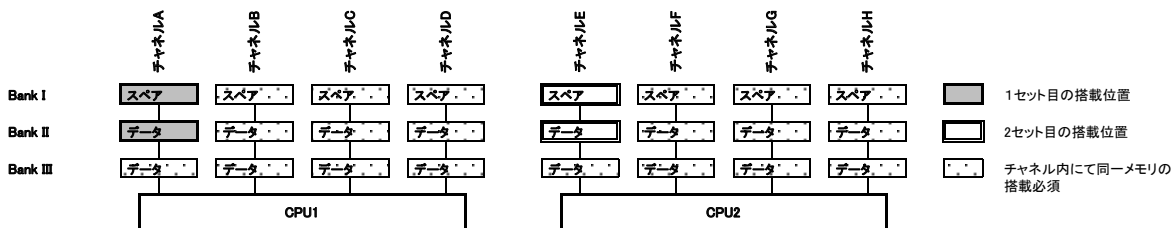
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2													
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G		
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	-	
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④	
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	-	④	④	④

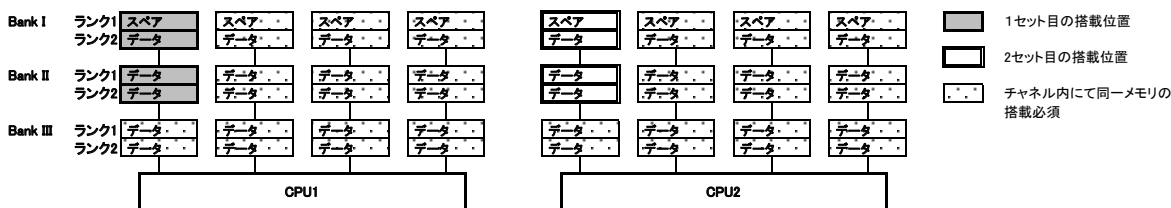
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

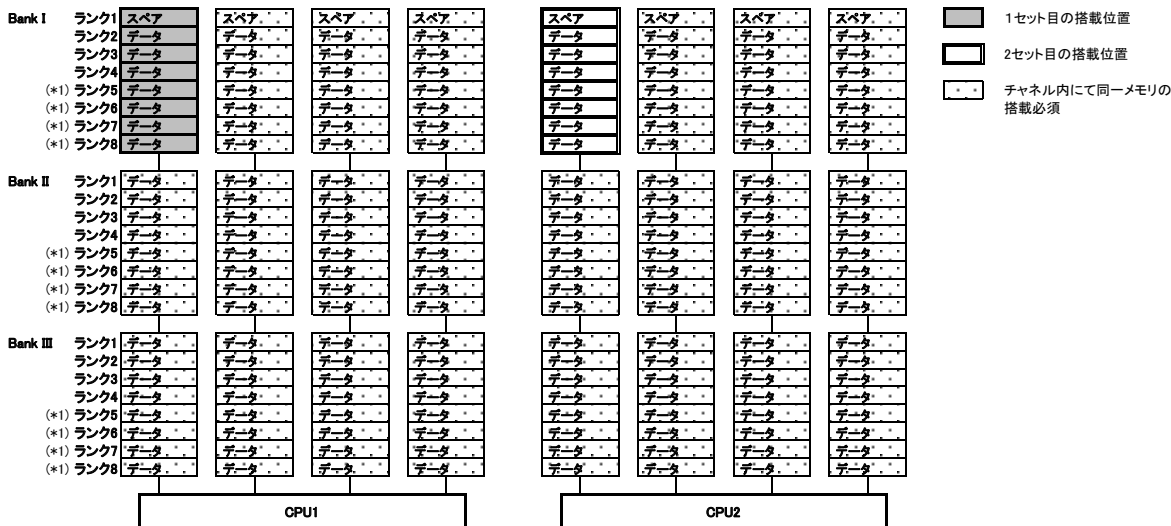
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



(*) Octa Rankメモリの場合のみ。Quad Rankメモリの場合はランク1~4までです。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。
ただし、BX924 S4でメモリ-64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ-64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【DIMMの搭載順】

≪BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時) ≫

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

≪BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E5-2643選択時以外) および BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外) ≫

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-
3セット	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③

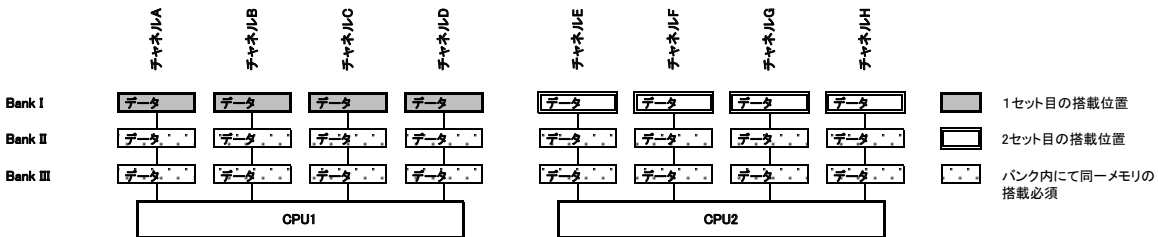
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) LV-UDIMMでは使用できません。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (5) 1DPC構成のみサポートとなります (DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
 - (6) Dual Rank ×8(8GB 1866 RDIMM)では使用できません。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-

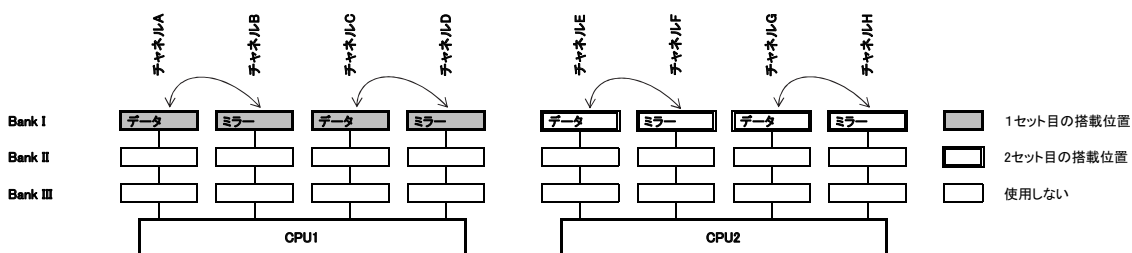
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-

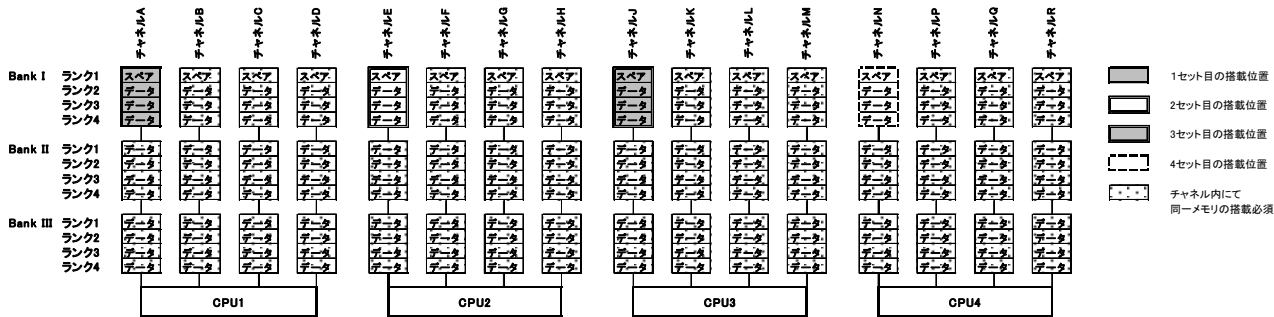
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

＜Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合＞



【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

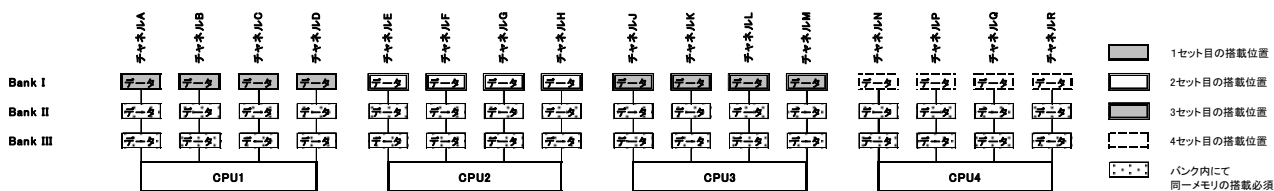
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

セット数	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	1J	2J	3J	1K	2K	3K	1M	2M	3M	1L	2L	3L	1N	2N	3N	1P	2P	3P	1R	2R	3R	1Q	2Q	3Q
4セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	④	-	-	④	-	-	④	-	-
5セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
6セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
7セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
8セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
9セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
10セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
11セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
12セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラーチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) 最低4枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
 - (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

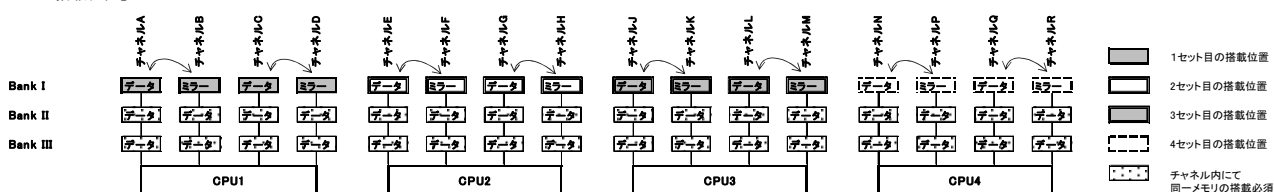
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

セット数	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	1J	2J	3J	1K	2K	3K	1M	2M	3M	1L	2L	3L	1N	2N	3N	1P	2P	3P	1R	2R	3R	1Q	2Q	3Q
4セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	④	-	-	④	-	-	④	-	-
5セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
6セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
7セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
8セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
9セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
10セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
11セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
12セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX250 S2/CX270 S2の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

搭載順	CPU0								CPU1							
	1A	2A	1B	2B	1D	2D	1C	2C	1E	2E	1F	2F	1H	2H	1G	2G
搭載順	1	9	5	13	7	15	3	11	2	10	6	14	8	16	4	12

【パフォーマンスモード】

- (1)メモリの最大性能にて動作します。
 - (2)LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3)最低8枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、8枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

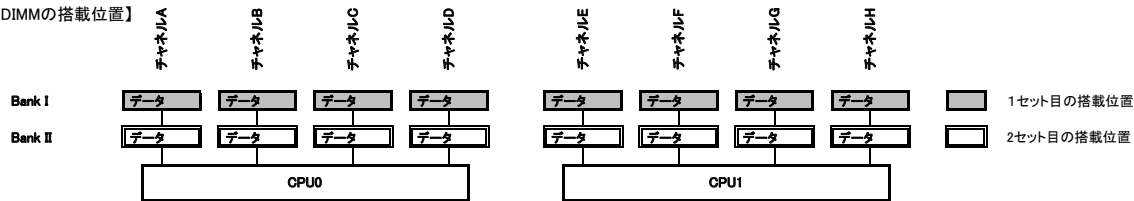
【DIMMの搭載順】

■物理CPU2台構成時

セット数	CPU0								CPU1							
	1A	2A	1B	2B	1D	2D	1C	2C	1E	2E	1F	2F	1H	2H	1G	2G
1セット	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置名 規格	適用OS	Windows系											Linux系		
		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64	WS08W	WS08RS/E/D	WS08RF	WS08RW	WS08RH	SBS11E	WS12S/D	WS12F	WS12RS/D/F/E	RHEL5(x86) RHEL5(Intel64)	RHEL6(x86) RHEL6(Intel64)		
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	
	PY-RD113 PYBRD113		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	PY-DT202 PYBDT202		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

○:対応

×:未対応

△:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

▲:サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

(※1) 最新対応状況につきましては、弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/>)を参照ください。

留意事項

- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
- Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar, cpio, ddをご使用ください。
- OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

■ ARCserve for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

弊社HP (<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>)

バックアップ装置 装置名 規格	適用OS	ARCserve 版数																								
		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64			WS08RS/E/D			WS08RF			WS08RW			WS12S/D			WS12F			WS12RS/D/F/E						
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	CA ARCserve Backup r15	○	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○	CA ARCserve Backup r15	×	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		CA ARCserve Backup r15	×	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○	CA ARCserve Backup r15	×	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○
	PY-RD113 PYBRD113		CA ARCserve Backup r15	×	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○	CA ARCserve Backup r15	×	○	○	CA ARCserve Backup r16	×	○	○	CA ARCserve Backup r16.5	×	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	PY-DT202 PYBDT202		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

○:対応

×:未対応

●:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

(※1) CA社提供のバッチモジュール RO63365 (WIN-EXCHANGE 2013/WINDOWS 2012R2 SUPPORT - UPDATE3) の適用が必須。

(CA社のサイト: <http://www.casupport.jp/resources/bab165win/down/>)

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置	適用OS		WS08S/E-32				WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D				WS12F				WS12RS/D/F/E					
	装置型名	規格	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1
RDX装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD113 PYBRD113		×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
			×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
LTO装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
DAT装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-DT202 PYBDT202		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 対応
 × : 未対応
 - : OS組合せなし

■ Backup Exec for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とBackup Exec for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/>)

バックアップ装置	適用OS		WS08S/E-32		WS08S/E/D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS12S/D/F		WS12RS/D/F/E	
	装置型名	規格	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012
RDX装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0 (*1)(*5)	×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	×	×	×	×	×
	PY-RD112 PYBRD112		×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	×	×	×	×	×
	PY-RD113 PYBRD113		×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	◎(*4)	×	×	×	×	×	×
LTO装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○(*2)	○	○(*2)	○	○(*2)	○	×	×	×	×	×	×
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6 (*5)	×	×	×	○(*4)	×	○(*4)	×	×	×	×	×	×
DAT装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
	PY-DT202 PYBDT202		◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×

○ : 対応
 × : 未対応
 ◎ : 対応(ただし、弊社提供のUSBドライバの適用必須)

- (*1) 媒体(Data Cartridge RDX) をまたがるシステムバックアップは未サポート。
- (*2) テープ媒体をまたがるシステムバックアップは未サポート。
 また、シマンテック社提供のデバイスドライバ DD20100515 以降の適用が必須。(なお、Backup Exec 2010 R2, R3 をご使用になる場合は、本デバイスドライバの適用は不要)
- (*3) Backup Exec 2010 R3以降を使用することを推奨。
- (*4) SDRIによるリストアは未サポート。
- (*5) Backup Exec 2012 SP2以降でサポート。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS NetVault Backup 版数	RHEL5(x86)					RHEL5(Intel64)					RHEL6(x86)					RHEL6(Intel64)				
			NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	x	x	x	△	△	x	x	x	△	△	x	x	x	○	○	x	x	x	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		x	x	x	△	△	x	x	x	△	△	x	x	x	○	○	x	x	x	○	○
	PY-RD113 PYBRD113		x	x	x	△	△	x	x	x	△	△	x	x	x	○	○	x	x	x	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	x	x	x	x	○	x	x	x	x	○	x	x	x	x	○	x	x	x	x	○
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○
	PY-DT202 PYBDT202		-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○

○:対応

x:未対応

-:OS組合せなし

△:サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表の通りです。
ダウングレード例: Windows Server® 2012 R2 > Windows Server® 2012 > Windows Server® 2008 R2 > Windows Server® 2008
ダウンエディション例: Datacenter > Enterprise > Standard

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ									
		WS12RS	WS12RD	WS12S	WS12D	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S-32/64	WS08E-32/64	WS08D-64
保有 ライ セン ス	WS12RS	-	x	o	x	o	o	x	o	o	x
	WS12RD	o	-	o	o	o	o	o	o	o	x
	WS12S	x	x	-	x	o	o	x	o	o	x
	WS12D	x	x	o	-	o	o	o	o	o	o
	WS08RS	x	x	x	x	-	x	x	o	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	o	-	x	o	o	x
	WS08RD	x	x	x	x	o	o	-	o	o	o
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	o	-	x
	WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	o	o	-

○:可能、x:不可、-:対象外

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 は、64bit版のみの提供となります。
- Windows Server® 2008 は32bit版、64bit版の提供となり、双方の媒体が標準添付されております。

Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品
 - 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit)のインストール作業を代行します。
 - 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
 - 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Windows Server)	SupportDesk Standard(Windows Server 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	・Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard	・Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard ・Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise ・Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter
ゲスト対象OS	-	富士通でサポート可能なホストOS/ゲストOSの組み合わせに限る(*2)
サービス内容	・専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)	・専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例: ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザ様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザ様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社HPからご確認ください。
マイクロソフト社 HP(<http://support.microsoft.com/kb/2883200>)
- Windows Server® 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentialsのバックアップ機能を使用する場合は、2つ以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- ・お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- ・オプション提供品のラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)		
	2CPU/1ゲスト	2CPU/4ゲスト	2CPU/ゲスト無制限
サービス期間	1年/3年/4年/5年	1年/3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート範囲	CPU数 (Socket数)	~2	~2
	ゲストOS数	~1	~4
サポートOS(*1)(*2)	・Red Hat Enterprise Linux	・Red Hat Enterprise Linux	・Red Hat Enterprise Linux
サービス内容	・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手続き代行	・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手続き代行	・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手続き代行

(*1) 対象版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照ください。
 (*2) 仮想環境におけるサポートOSの組合せについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

- ・サービス内容のより充実した「拡張サポート」「拡張プラスサポート」や、仮想マシン(ゲストOS)単位課金の商品も別途ラインナップしております。詳細はシステム構成図(サービス一覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションについて

- ・Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- ・サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須となります。(Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションのみでの手配はできません。)
- ・OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下ようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ (*1)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	2TB	8TB / 16TB (*2)

(*1) ファイルシステム ext3/ext4における最大サイズとなります。ext4は、RHEL6 (for x86/for Intel64)でご使用ください。
 (*2) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用ください。ただし、システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラ、オンボードSATAコントローラ拡張オプションにてRAID構成で使用する場合は、Linuxのディスクダンプ機能はRHEL5.8以降、RHEL6.3以降をご使用ください。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/>)の「PRIMERGYのLinux情報」のLinuxサポート版数一覧表の各機種種の注意事項を参照の上、ご使用ください。

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

留意事項

機種名	RHEL5 / RHEL6		
	オンボード(SATA/SAS)コントローラにて		左記以外のストレージコントローラ使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX920 S3	○	-	○
BX920 S4	○	-	○
BX924 S3	○	-	○
BX924 S4	○	-	○
RX100 S8	○	○	○
RX200 S7	○	-	○
RX200 S8	○	-	○
RX300 S7	○	-	○
RX300 S8	○	-	○
RX350 S8	○	-	○
RX500 S7	○	-	○
RX600 S6	-	-	○
TX100 S3	○	○	○
TX120 S3	○	○	○
TX140 S2	○	○	○
TX150 S8	○	-	○
TX200 S7	○	-	○
TX300 S8	○	-	○
CX250 S2	○	-	○
CX270 S2	○	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

機種名	RHEL5			RHEL6		
	オンボード(SATA/SAS)コントローラにて		左記以外のストレージコントローラ使用時	オンボード(SATA/SAS)コントローラにて		左記以外のストレージコントローラ使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時		アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX920 S3	x	-	○	○	-	○
BX920 S4	x	-	○	○	-	○
BX924 S3	x	-	○	○	-	○
BX924 S4	x	-	○	○	-	○
RX100 S8	x	x	x	○	○	○
RX200 S7	x	-	○	○	-	○
RX200 S8	x	-	○	○	-	○
RX300 S7	x	-	○	○	-	○
RX300 S8	x	-	○	○	-	○
RX350 S8	x	-	○	○	-	○
RX500 S7	x	-	○	○	-	○
RX600 S6	-	-	○	-	-	○
TX100 S3	x	x	x	○	○	○
TX120 S3	x	x	x	○	○	○
TX140 S2	x	○	○	○	○	○
TX150 S8	x	-	○	○	-	○
TX200 S7	x	-	○	○	-	○
TX300 S8	x	-	○	○	-	○
CX250 S2	x	-	○	○	-	○
CX270 S2	x	-	○	○	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組み合わせについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

略称		品名		型名	手配可能数			
Windows	インストール	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3	1	4		
		WS12RS(Hyper-V)	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3H	1			
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2	1			
		WS12S(Hyper-V)	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2H	1			
	バンドル	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYWBBS3	1	4		
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYWBBS2	1			
		WS12S Add	Windows Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAS2	3			
	バンドル	WS12RD	Windows Server 2012 R2 Datacenter(2CPU) バンドル	PYWBBD3	1	2		
		WS12D	Windows Server 2012 Datacenter(2CPU) バンドル	PYWBBD22	1			
		WS12D Add	Windows Server 2012 Datacenter Additional License(2CPU) バンドル	PYBWAD22	1			
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2012 1 Device CAL バンドル	PYBWCD01	4	10		
		DCAL5	Windows Server 2012 5 Device CAL バンドル	PYBWCD05	1			
		DCAL10	Windows Server 2012 10 Device CAL バンドル	PYBWCD10	4			
		DCAL50	Windows Server 2012 50 Device CAL バンドル	PYBWCD50	10			
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2012 1 User CAL バンドル	PYBWCU01	4	10		
		UCAL5	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWCU05	1			
		UCAL10	Windows Server 2012 10 User CAL バンドル	PYBWCU10	4			
		UCAL50	Windows Server 2012 50 User CAL バンドル	PYBWCU50	10			
	バンドル	RSDCAL1	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWCD01	4	10		
		RSDCAL5	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 5Device CAL	PYBWCD05	1			
		RSDCAL10	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 10Device CAL	PYBWCD10	4			
		RSDCAL50	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 50Device CAL	PYBWCD50	10			
	バンドル	RDSUCAL1	Windows Server 2012 Remote User Services 1 User CAL	PYBWCU01	4	10		
		RDSUCAL5	Windows Server 2012 Remote User Services 5User CAL	PYBWCU05	1			
		RDSUCAL10	Windows Server 2012 Remote User Services 10User CAL	PYBWCU10	4			
		RDSUCAL50	Windows Server 2012 Remote User Services 50User CAL	PYBWCU50	10			
	インストール	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPS8	1	3		
	バンドル	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard バンドル	PYWBBS8	3			
	バンドル	WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PYWBBS8E	2			
	バンドル	WS08RH	Windows Server 2008 R2 HPC Edition バンドル	PYBWBH8H	1	2		
		HPC Enterprise	Microsoft HPC Pack 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBH8E	1			
	バンドル	SQL2012	Microsoft SQL Server 2012 Standard バンドル	PYBWB2	1	7		
		SQL UCAL1	Microsoft SQL Server 2012 1 User CAL	PYBWCU01L	4			
		SQL UCAL5	Microsoft SQL Server 2012 5User CAL	PYBWCU05L	3			
		SQL DCAL1	Microsoft SQL Server 2012 1Device CAL	PYBWCD01L	4			
		SQL DCAL5	Microsoft SQL Server 2012 5Device CAL	PYBWCD05L	3			
	バンドル (メディアオプション)	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard メディアキットバンドル	PYWBBS82	1	4		
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise メディアキットバンドル	PYWBBS82E	1			
		WS08S	Windows Server 2008 Standard メディアキットバンドル	PYWBBS8	1			
		WS08E	Windows Server 2008 Enterprise メディアキットバンドル	PYWBBS8E	1			
	インストール	WS08S(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard インストール	PYBWPDT82	1	4		
	インストール	WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation インストール	PYBWP8	1			
	バンドル	WS12RF	Windows Server 2012 R2 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWF3	1			
		WS12RE	Windows Server 2012 R2 Essentials バンドル	PYBWB3	1			
WS12F		Windows Server 2012 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWF2	1				
WS12E		Windows Server 2012 Essentials バンドル	PYBWB2	1				
WS08RD(2CPU)		Windows Server 2008 R2 Datacenter (2CPUライセンス) バンドル	PYWBBD84	1				
WS08RD(4CPU)		Windows Server 2008 R2 Datacenter (4CPUライセンス) バンドル	PYWBBD85	1				
WS08RF		Windows Server 2008 R2 Foundation バンドル	PYBWF8	1				
WS08RH Suite		Windows HPC Server 2008 R2 Suite バンドル	PYBWBH8S	1				
WS08S-32(DG)		Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard バンドル	PYBWB8T8	1				
WS08S-64(DG)		Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard x64 バンドル	PYBWB8T82	1				
WS08E-32(DG)		Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise バンドル	PYBWB8N8	1				
WS08E-64(DG)		Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise x64 バンドル	PYBWB8N82	1				
Linux		バンドル	RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.5 媒体バンドル	PYBLB65		1	4
			RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.4 媒体バンドル	PYBLB64		1	
			RHEL5	Red Hat Enterprise Linux 5.10 媒体バンドル	PYBLB54		1	
	RHEL5		Red Hat Enterprise Linux 5.9 媒体バンドル	PYBLB53	1			
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5S5D1	4	4 (*1)		
		vS5S 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5S5A1	4			
		vS5E 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5S5E1	4			
		vS5E 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5S5EA1	4			
		vS5EP 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5S5PD1	4			
		vS5EP 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5S5PA1	4			
	バンドル	vS5SLE 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5S5LD1	1	1		
		vS5SLE 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5S5LA1	1			
		vS5SLE vCen 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5S5CD1	1			
	OS管理ソフト等	vS5SLE vCen 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5S5CA1	1	1		
		vCen 1年平日	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5C5D1	1			
		vCen 1年24時間	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5C5A1	1			
		vS5 UFM5.5	VMware vSphere Hypervisor 5.5用 USB Flash モジュール	PYBUFV52	1			
vS5 UFM5.1	VMware vSphere Hypervisor 5.1用 USB Flash モジュール	PYBUFV51	1	1				

(*1) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります。
 (機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認の上、手配ください。)

■ Windows

OSオプション	OSオプション	Windows																					
		インストール								バンドル													
		WS12RS	WS12RS(Hyper-V)	WS12S	WS12S(Hyper-V)	WS08RS	WS08S(DG)	WS08RF	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12F	WS12E	WS12S Add	WS12D Add	WS08RS	WS08S-32(DG)	WS08S-64(DG)		
Windows	インストール	WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS12RS(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS12S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	
		WS08S(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	バンドル	WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS12RD	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	
		WS12RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	
		WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	
		WS12F	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12S Add	○	○	○	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	x	x
		WS12D Add	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RS	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x
		WS08S-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08S-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x
		WS08E-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08E-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RD(2CPU)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
WS08RD(4CPU)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
WS08RH Suite	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
WS08RH	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
メディアキット	WS08RS	○	○	○	○	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	x	x	
	WS08RE	○	○	○	○	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	x	x	
	WS08S	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
	WS08E	○	○	○	○	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	x	x	
OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	
	DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	
	RDSUCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	
	RSDCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	
	SQL2012	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL UCAL1/5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL DCAL1/5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	HPC Enterprise	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
Linux	バンドル	RHEL6.5(*1)	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		RHEL6.4(*1)	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		RHEL5.10(*1)	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		RHEL5.9(*1)	x	x	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x
VMware	バンドル	vSSS 1年平日	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSSS 1年24時間	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSSE 1年平日	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSSE 1年24時間	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSSEP 1年平日	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSSEP 1年24時間	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSLE 1年平日	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSLE 1年24時間	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSLE vCen 1年平日	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vSLE vCen 1年24時間	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○
		vCen 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○
		vS UFM5.5	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	
		vS UFM5.1	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	x	x	

○:同時手配可、x:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

OSオプション	OSオプション	Windows																				
		バンドル									メディアキット				OS管理ソフト等							
		WS08RE	WS08E-32(DG)	WS08E-64(DG)	WS08RD (2CPU)	WS08RD (4CPU)	WS08RH Suite	WS08RH	WS08RF	WS08RS	WS08RE	WS08S	WS08E	UCAL 1/5/10/50	DCAL 1/5/10/50	RDSUCAL 1/5/10/50	RSDCAL 1/5/10/50	SQL2012	SQL UCAL 1/5	SQL DCAL 1/5	HPC Enterprise	
Windows	インストール	WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12RS(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x
		WS12S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x
		WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o	o	o	o	o	o	x
		WS08S(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x
	バンドル	WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	x	
		WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12RD	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	x	
		WS12RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	x	
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12F	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	x	
		WS12E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	x	
		WS12S Add	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS12D Add	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RS	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08S-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08S-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RE	o	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08E-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08E-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RD(2CPU)	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RD(4CPU)	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RH Suite	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS08RH	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o	x		
	メディアキット	WS08RS	o	x	x	o	o	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08RE	x	x	x	o	o	x	x	x	o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08S	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	x	o	o	o	o	o	o	o	x	
		WS08E	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	x	o	o	o	o	o	o	x	
	OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	x	o	x	o	x	x	
DCAL1/5/10/50		o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	x	o	x	o	x	o	x		
RDSUCAL1/5/10/50		o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	x	o	x	o	x	x		
RSDCAL1/5/10/50		o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	x	o	x	o	x	o	x		
SQL2012		o	o	o	o	o	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x		
SQL UCAL1/5		o	o	o	o	o	x	x	o	o	o	o	o	o	x	o	x	o	x	x		
SQL DCAL1/5		o	o	o	o	o	x	x	o	o	o	o	o	x	o	x	o	x	o	x		
HPC Enterprise		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
Linux	バンドル	RHEL6.5(*1)	o	x	x	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		RHEL6.4(*1)	o	x	x	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		RHEL5.10(*1)	o	x	x	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		RHEL5.9(*1)	o	x	x	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
VMware	バンドル	vSS 1年平日	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSS 1年24時間	o	x	x	o	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSE 1年平日	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSE 1年24時間	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSEP 1年平日	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSEP 1年24時間	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSLE 1年平日	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSLE 1年24時間	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSLE vCen 1年平日	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
		vSLE vCen 1年24時間	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	x	
		vCen 1年24時間	o	o	o	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x	x	
		vS UFM5.5	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	x	x	x	x	x		
		vS UFM5.1	o	x	x	o	o	x	x	x	o	o	o	o	o	o	x	x	x	x		

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard/Red Hat Enterprise Linux 基本サポートとの同時手配必須

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux/VMware

OSオプション	OSオプション	OSオプション				VMware										OS管理ソフト等			
		RHEL 6.5 (*1)	RHEL 6.4 (*1)	RHEL 5.10 (*1)	RHEL 5.9 (*1)	vSS 1年平日	vSS 1年24時間	vSE 1年平日	vSE 1年24時間	vSEEP 1年平日	vSEEP 1年24時間	vSLE 1年平日	vSLE 1年24時間	vSLE vCen 1年平日	vSLE vCen 1年24時間	vCen 1年平日	vCen 1年24時間	vS UFM5.5	vS UFM5.1
Windows	インストール	WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12RS(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S	x	x	x	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S(Hyper-V)	x	x	x	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RS	x	x	x	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08S(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	バンドル	WS12RS	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS12RD	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS12RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS12D	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS12F	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S Add	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS12D Add	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08RS	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08S-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08S-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RE	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08E-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08E-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RD(2CPU)	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08RD(4CPU)	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08RH Suite	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RH	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	メディアキット	WS08RS	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08RE	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08S	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
		WS08E	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
	DCAL1/5/10/50	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
	RDSUCAL1/5/10/50	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
	RSDCAL1/5/10/50	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
	SQL2012	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	SQL UCAL1/5	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	SQL DCAL1/5	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	HPC Enterprise	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
Linux	バンドル	RHEL6.5(*1)	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
		RHEL6.4(*1)	o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
		RHEL5.10(*1)	o	o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
		RHEL5.9(*1)	o	o	o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	
VMware	バンドル	vSS 1年平日	o	o	o	o	o	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o
		vSS 1年24時間	o	o	o	o	x	o	x	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o
		vSE 1年平日	o	o	o	o	x	x	o	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o
		vSE 1年24時間	o	o	o	o	x	x	o	x	x	x	x	x	x	x	o	o	o
		vSEEP 1年平日	o	o	o	o	x	x	x	x	o	x	x	x	x	o	x	o	o
		vSEEP 1年24時間	o	o	o	o	x	x	x	x	o	x	x	x	x	x	o	o	o
		vSLE 1年平日	o	o	o	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o
		vSLE 1年24時間	o	o	o	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	o	o
	vSLE vCen 1年平日	o	o	o	o	x	x	x	x	x	o	x	o	x	x	x	o	o	
	vSLE vCen 1年24時間	o	o	o	o	x	x	x	x	x	x	o	x	o	x	x	o	o	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	o	o	o	o	o	o	x	o	x	o	x	x	x	x	x	o	o
		vCen 1年24時間	o	o	o	o	x	o	x	o	x	o	x	x	x	x	x	o	o
vS UFM5.5		o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	
vS UFM5.1		o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	x	x	

○: 同時手配可、x: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須
また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

Windows用SupportDesk / Linux用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年										○	○	○
	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年										○	○	○
	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

ハードウェア用SupportDesk / OS用SupportDesk		SupportDesk/バックLite (翌営業日以降訪問修理)			SupportDesk/バックLite (当日訪問修理)			SupportDesk/バック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/バック Standard24 (OSサポートなし)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×		×	
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年										○	×	×
	4年		×			×			×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×		×	
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)	3年										○	×	×
	4年		×			×			×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年										○	○	○
	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年										○	○	○
	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年		×			×		○	×	×		×	
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年		×			×					○	×	×
	4年								×		×	○	×
	5年										×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

図説

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。
 ※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報をご確認ください。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)をご参照ください。

OS ゲストOS	ホスト	WS08S/E/D-64 WS08RS/E/D	WS12S/D	WS12RS/D	RHEL5 (Intel64) (Xen) (*1)	RHEL6 (Intel64) (KVM)			VMware	
		Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	5.1~	~6.1	6.2/6.3	6.4~	vS4	vS5
Windows	WS12RS	×	SPなし	SPなし	確認中	確認中	確認中	確認中	×	○
	WS12RD	×	SPなし	SPなし	確認中	確認中	確認中	確認中	×	○
	WS12RF	×	×	×	確認中	確認中	確認中	確認中	×	×
	WS12RE	×	SPなし	SPなし	確認中	確認中	確認中	確認中	×	×
	WS12S	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	○	×	×	○
	WS12D	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	○(*6)	×	×	○
	WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	WS12E	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	○(*6)	×	×	×
	WS08RS	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	SP1	×	×	○	×	×	○
	WS08RE	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	SP1	×	×	○(*6)	×	×	○
	WS08RD	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	SP1	×	×	○(*6)	×	×	○
	WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	WS08S-32/64	SP2 (*3)	SP2	SP2	×	×	○	×	SPなし/SP2	×
	WS08E-32/64	SP2 (*3)	SP2	SP2	×	×	○(*6)	×	SPなし/SP2	×
	WS08D-64	SP2 (*3)	SP2	SP2	×	×	○(*6)	×	SPなし/SP2	×
	WS08F-64	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	WS08RW	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	SP1	×	×	○	×	×	×
	WS08W-32/64	SP2 (*3)	SP2	SP2	×	×	○	×	×	×
	WS08RH	×	×	×	×	×	○	×	×	×
	WS08H-32	SP2 (*3)	×	×	×	×	○	×	×	×
	WS03RS/Sx64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	○	×	SP2	×
	WS03RE/Ex64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	○(*6)	×	SP2	×
	WS03RD/Dx64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	○(*6)	×	×	×
	WS03S/Sx64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	SP2	×	SP1/SP2	×
	WS03E/Ex64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	SP2 (*6)	×	SP1/SP2	×
	WS03D/Dx64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	SP2 (*6)	×	×	×
	WS03W-32	SP2	SP2	SP2	×	×	SP2	×	×	×
	WS00S/AS	×	×	×	×	×	×	×	SP3/SP4 (*7)	SP4 (*7)
	WSNT4S	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	W8.1	×	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○
	W8.1P	×	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○
	W8.1E	×	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○
W8	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○	
W8P	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○	
W8E	SPなし (*2)	SPなし	SPなし	×	×	×	×	×	○	
W7HP	×	×	×	×	×	×	×	○	SPなし/SP1	
W7P/E/U	SP1 (*3)	SP1	SP1	×	×	×	×	○	SPなし/SP1	
WVHB/HP	×	×	×	×	×	×	×	SPなし/SP1/SP2	×	
WVBE/U	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	×	×	SPなし/SP1/SP2	×	
WXPPx64	SP2 (*4)	SP2	SP2	×	×	×	×	SP2	×	
WXPP	SP3 (*4)	SP3	SP3	×	×	×	×	SP1/SP2/SP3	×	
Linux	RHEL6(x86/Intel64)	6.4 (*8)	6.4	×	×	○	×	×	○	
	RHEL5(x86/Intel64)	5.9 (*8)	5.9	×	~5.x (*5)	×	5.3~	×	○	
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	×	×	×	4.6~	×	4.8~	4.3~	×	
	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×	×	×	3.9~	×	×	

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

(*1) ホストOS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用ください。

(*2) ホストOSが Windows Server 2008 R2 の場合は、Hyper-V のゲストOSとして Windows 8 もしくは Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用いただく必要があります。

詳細はMicrosoft社の情報をご確認ください。Microsoft社 HP(<http://support.microsoft.com/kb/2744129>)

ホストOSが Windows Server 2008 の場合は、Hyper-VのゲストOSとして Windows 8 もしくは Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用してもサポートされません。

(サポート技術情報 KB2744129 に対する、Microsoft社の回答 (2013/12/5) に基づき記載。)

(*3) 1.24CPUで動作可能となります。

(*4) 1.2CPUで動作可能となります。

(*5) ゲストOS版数は、ホストOS版数のマイナーバージョンまでとなります。(例: ホストOSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です。)

(*6) KVM上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。

(*7) Windows Server® 2000 Advanced Server を除く。

(*8) WS08S/E/D-64 を除く。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://jp.fujitsu.com/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://jp.fujitsu.com/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk (PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	DATテープ、データカートリッジ http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/supply/media/

